



学校だより

令和元年 10月30日
発行 校長 佐藤昌俊

今年もしっかりとタスキをつなぎました ～令和元年駅伝大会～

令和元年10月19日(土)、朝方までの強い雨もあがり、令和元年最初の駅伝大会が、馬堀海岸の国道16号に設定された折り返しコースで予定通りに実施されました。女子は5区間、11.64kmを、男子は6区間、15.9kmを走りました。

本年度は7月から取組がはじまり、暑い中練習に励み、仲間とともに切磋琢磨しながら



タイム更新を図ってきました。様々な部活の生徒が集まり、一つの目標に向かって取り組むのが、常葉中学校の駅伝大会への道です。まずは「チーム常葉」になることです。取組期間中、いろいろな壁にはぶつかったようですが、日に日に意識を変え、記録を伸ばし、チームとしてのまとまりもできました。そんな駅伝チームを応援すべく、大会前日には「壮行会」を開き、全校生徒でエールを送りました。

一人一人の選手が走っている時は一人でも、駅伝はチーム種目です。走った選手も控えにまわった選手も、サポートをする選手も、そして沿道で声援を送っていた生徒も、みんなが一つになってこの駅伝にかかわり、「チーム常葉」として取り組みました。その姿から私自身、たくさん勇気、エネルギーをもらいました。本当にありがとうございました。その結果、男子は14位で昨年度よりも順位をあげました。前回大会も含めての積み重ねの成果です。女子は入賞を目標とし、6位入賞を果たしました。「有言実行」です。

当日は多くの保護者の方々にも応援に駆けつけていただき、ありがとうございました。



災害にどう備えるか 地震そして豪雨・土砂崩れ・河川の氾濫・・・

今回の一連の台風や大雨がこの三浦半島はもとより全国の広い範囲にわたって甚大な被害をもたらしました。皆様の関係者の方々の中にも被災された方がおられたのではないかと推察いたします。改めて心よりお見舞い申し上げます。

これまで天候にかかる対応としては「暴風」を中心に考えてきましたが、今回の災害からは大量の雨をもたらす危険にも改めて注視して学校としての対応を考えなければならない状況になってきたことを痛切に感じました。正確かつ速やかな情報の収集、登下校等についての適切な判断など、これまで以上に努めなければならないと考えています。